



Solaris 8 Maintenance Update 1 ご 使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road
Palo Alto, CA 94303
U.S.A. 650-960-1300

Part Number 806-4551-10
2000年7月

Copyright 2000 Sun Microsystems, Inc. 901 San Antonio Road, Palo Alto, California 94303-4900 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software-Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, docs.sun.com, AnswerBook, AnswerBook2, Solaris 8 Maintenance Update, SunOS, JumpStart は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サン のロゴマーク および Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社で開発されたソフトウェアです。(Copyright OMRON Co., Ltd. 1999 All Rights Reserved.)

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK8」は株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK8」にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政省が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 8 Maintenance Update 1 Installation Guide

Part No: 806-3654-10

Revision A



目次

- はじめに 5
- 1. 概要 9
 - Solaris 8 Maintenance Update 1 とは 9
 - いつ Solaris 8 Maintenance Update 1 をインストールするか 10
- 2. **Solaris 8 MU1** のインストール 11
 - インストール時間について 11
 - 必要条件 12
 - Solaris 8 MU1 のインストール 12
 - Solaris 8 MU のバージョンの確認 16
- 3. **Solaris 8 MU1** のバックアウト 19
 - Solaris 8 MU1 のバックアウト 19
- 4. 既知の問題 25
 - インストールに関するバグ 25
 - `install_mu` を `sh` で起動すると正常に動作しない (bug ID 4062334) 25
 - `Patchadd` が終了メッセージを表示する 25
- 5. エラーメッセージ 27
- A. **Solaris 8 MU1** の内容 35
 - パッチリスト (SPARC 用) 35

パッチリスト (Intel 用) 42

はじめに

『Solaris 8 Maintenance Update 1 ご使用にあたって』では、Solaris™ 8 Maintenance Update 1 (以降、MU1 とします) をインストールおよびバックアウトする方法について説明します。また、MU1 における既知の問題、エラーメッセージ、および Solaris 8 MU1 リリースのパッチリストも記載しています。

Sun のマニュアルの注文方法

専門書を扱うインターネットの書店 Fatbrain.com から、米国 Sun Microsystems™, Inc. (以降、Sun™ とします) のマニュアルをご注文いただけます。

マニュアルのリストと注文方法については、<http://www1.fatbrain.com/documentation/sun> の Sun Documentation Center をご覧ください。

Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING'</code>

ただし AnswerBook2™ では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例は次のように表示されます。

■ C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- このマニュアルでは、「IA」という用語は、Intel 32 ビットのプロセッサアーキテクチャを意味します。これには、Pentium、Pentium Pro、Pentium II、Pentium II Xeon、Celeron、Pentium III、Pentium III Xeon の各プロセッサ、および AMD、Cyrix が提供する互換マイクロプロセッサチップが含まれます。

概要

『Solaris 8 Maintenance Update 1 ご使用にあたって』では、Solaris 8 Maintenance Update 1 (MU1) のインストールとバックアウト方法について説明します。このマニュアルは、MU1 をインストールするシステム管理者を対象としています。このマニュアルには記載されていない、MU1 に関する最新の問題については、<http://docs.sun.com> の Solaris 8 Maintenance Update Collection を参照してください。

システム管理に関する一般的な手順の詳細は、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』、『Solaris のシステム管理 (第 2 巻)』、および『Solaris のシステム管理 (第 3 巻)』を参照してください。

Solaris 8 Maintenance Update 1 とは

Solaris 8 Maintenance Update 1 CD (以降、MU1 CD とします) には、Solaris 8 6/00 リリースの SOFTWARE CD にパッケージされているパッチが入っています。これらのパッチはセットとしてインストール時にパッチの検査を行っており、インストールがワンステップで行えるようにパッケージされています。MU1 のインストールを行うと、システムにインストール済みのパッチを元に戻すことなく、以前インストールしたパッチを自動的に更新します。

いつ Solaris 8 Maintenance Update 1 をインストールするか

使用しているシステムが Solaris 8 オペレーティング環境を実行していて、以前システムにインストールしたパッチを削除せずに、Solaris 8 6/00 オペレーティング環境でリリースされたパッチを適用したい場合に、Solaris 8 MU1 をインストールしてください。MU1 CD を使用してインストールしたパッチは、バックアウトすることができます。

Solaris 8 またはそれ以前のバージョンのオペレーティング環境を実行していて、新しい機能とハードウェアサポートにすべてアップグレードしたい場合には、Solaris 8 6/00 オペレーティング環境をインストールしてください。Solaris 8 6/00 オペレーティング環境をインストールすることによって適用されるパッチは、以前にインストール済みの Solaris 8 パッチを入れ替え、またこのリリースからバックアウトすることはできません。

MU は主に、Solaris オペレーティング環境を検証されたパッチレベルまで更新するために設計されています。特定のパッチだけをインストールしたい場合は、通常のサポートチャネルを通じて行なってください。

注 - この製品名は Solaris 8 MU1 ですが、コードまたはパッケージのパス名には Solaris 2.8 または SunOS™ 5.8 が使用されている場合があります。このマニュアルに記載されているとおりのコードあるいはパス名を使用してください。

Solaris 8 MU1 のインストール

この章では、Solaris 8 MU1 をインストールする方法について説明します。カスタム JumpStart™ インストールの一環として Solaris 8 MU1 をインストールする場合は、『Solaris 8 のインストール (上級編)』を参照してください。

インストール時間について

Solaris 8 MU1 のインストール手順では、MU1 パッチを個別にインストールする場合に比べてかなりの時間を短縮できます。Solaris 8 MU1 のインストール時間は、次の項目によって異なります。

- マシンの CPU スピード
- 選択した `install_mu` オプション
- `install_mu` コードとパッチセットにアクセスするために使用する CD-ROM ドライブ、ハードディスク、またはネットワークの転送速度

バックアウトオプションを無効にして MU1 をインストールする場合、インストールはさらに速くなります。ただし、MU1 が提供するパッチはバックアウトできません。

必要条件

Solaris 8 MU1 は、Solaris 8 オペレーティング環境が稼動しているシステム上のみインストールできます。

ファイルシステムごとに必要なディスク容量は次の項目によって異なります。

- バックアウトオプションを選択したかどうか
- バックアウトデータを保存するときのバックアウトディレクトリの位置
- ファイルシステムごとに利用可能なディスクパーティションおよびディスク容量と、それに対するファイルシステムごとに必要なパッチのディスク容量
- システムのロケール
- すでにいくつかの MU パッチがシステムにインストールされているかどうか

`install_mu` スクリプトはファイルシステムごとに必要なディスク容量を算出して、その容量を報告します。可能であれば、バックアウトのディスク容量も報告します。容量の計算には数分かかります。

`install_mu` スクリプトは、1つまたは複数のファイルシステムに容量が足りないと判断した場合、それ以上処理しません。パッチのインストールに必要な容量は正確に計算されますが、バックアウトデータに必要な容量は予測したものであり、実際に必要な容量よりも多く報告されることがあります。

パッチセット (および、必要であればバックアウトデータ) を適用するのに十分な容量があり、容量の計算を省略したい場合には、`install_mu` に `-f` オプションを付けて実行します。

Solaris 8 MU1 のインストール

Solaris 8 MU1 をインストールするには、`install_mu` を実行するシステムと対象となるシステムで Solaris 8 オペレーティング環境がすでに稼動していなければなりません。

MU1 はシステムライブラリにパッチを適用するため、MU1 をインストールする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。マルチユーザーの状態では MU1 をインストールすると、すでにマップされているライブ

ラリのセクションとマップされていないそのライブラリのセクション間に不一致が
起こり、そのライブラリは不安定な状態になります。

シングルユーザーモードでは、ネットワークサービスは使用できません。MU1 イ
メージが CD 上ではなくネットワーク上にある場合、シングルユーザーモードでシ
ステムをブートする前に MU1 イメージをネットワークからローカルシステムにコ
ピーしなければなりません。

十分なローカルディスク容量がないため MU1 イメージをローカルにコピーでき
ない場合や CD がないまたはつながっていない場合、あるいはシステムをシング
ルユーザーモードにできない場合には、マルチユーザーモードで NFS を使用して
MU1 をインストールすることになります。この場合、システムをできるだけ静かな
状態 (つまり、ユーザーがすべてログアウトし、実行されているジョブがない状態)
にしておく必要があります。

注 - 必ずオペレーティングシステムのバックアップをとった後、手順を進めてくだ
さい。

Solaris 8 MU1 をインストールするには、次の手順に従います。

1. 重要なユーザープロセスまたはシステムプロセスが実行されていないことを確認
します。
2. 現在のセッションを終了します。
CDE ログイン画面が表示されます。
3. 「オプション」ボタンをクリックして、「コマンド行ログイン」を選択します。
ログインプロンプトが表示されます。
4. ログイン名として `root` と入力し、**root** のパスワードを入力します。

```
login: root  
password: root password
```

5. シングルユーザーモードでリブートします。**root** のシェルプロンプトで次のよう
に実行します。

```
# reboot -- -s
```

注 - shutdown または init コマンドで実行レベルをマルチユーザーモードからシングルユーザーモードへ変更すると、vold プロセスが実行されたままになることがあります。この状態で MU1 CD をマウントしようとする、問題が発生することがあります。

6. **root** のパスワードを入力します。

システムが次のメッセージを表示し、システム保守モードになっていることを確認します。

```
Entering System Maintenance Mode  
  
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.8 Generic Feb 2000  
#
```

- CD から install_mu を実行している場合は、14ページの手順7に進みます。
- MU1 イメージのローカルコピーから install_mu を実行している場合は、14ページの手順8に進みます。

7. **MU1 CD** をマウントするには、**CD** をドライブに挿入し、**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# mount -o ro -F hsfs /dev/dsk/c0t6d0s0 /cdrom
```

注 - CD-ROM ドライブが c0 以外のコントローラにあるか、t6 以外のターゲットにあることがあります。この場合は CD-ROM デバイスへのパスを変更する必要があります。CD-ROM ドライブのマウントについては、システム管理者に問い合わせてください。

8. install_mu を実行します。

- MU1 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory
# ./install_mu options
```

- MU1 CD から実行するには、次のように入力します。

```
# cd /cdrom
# ./install_mu options
```

以下のオプションがコマンド行で使用できます。

表 2-1 install_mu のコマンド行オプション

オプション	説明
-d	パッチをバックアップしない。この引数を使うとソフトウェアのインストールに要する時間が短縮される。ただし、個々のパッチをバックアウトできなくなる。-B オプションと組み合わせて使うことはできない
-p <i>patchdir</i>	すべてのパッチが含まれているディレクトリを指定する
-q	install_mu の処理状況を示すドットの表示を無効にする
-B <i>backoutdir</i>	指定したディレクトリにバックアウトデータを保存する。-d オプションと組み合わせて使うことはできない
-f	十分なディスク容量があるかどうかをチェックせずに、パッチセットをインストールする。このオプションを使用すると時間が短縮される。ただし、このオプションを使用するときは、十分な容量があることを確認しておく

インストールが終了すると、次のメッセージが表示されます。

```
install_mu completed successfully.
```

- このメッセージが表示された場合は、16ページの手順9に進みます。

- エラーが発生した場合は、第 5 章を参照してください。

9. 次のように実行してシステムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

注 - ライブラリの衝突を防ぐために、MU1 をインストールした後に必ずシステムをリブートしてください。

10. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login  
password: password
```

Solaris 8 MU のバージョンの確認

Solaris 8 MU のバージョンを確認するには、次のように実行します。

```
# cat /etc/release
```

MU がシステムに適用したパッチを確認するには、次のように実行します。

```
# showrev -p
```

注 - Solaris 8 MU1 をインストールした場合の `showrev -p` の出力と、Solaris 8 6/00 オペレーティング環境をインストールした場合の `showrev -p` の出力を比較すると、次のパッチが MU1 をインストールした環境には適用されていないことがわかります。

- SPARC™ 版

- 108631-06
- 109316-01

- Intel 版

- 108632-06

これらのパッチは Solaris 8 6/00 オペレーティング環境でのみ必要なパッチです。MU1 のパッチセットには含まれていません。

Solaris 8 MU1 のバックアウト

Solaris 8 MU1 のパッチは、セットとしてインストール時にパッチの検査を行なっているため、安定性を最大限にするためバックアウト時もセットで使用してください。パッチのどれかを削除する必要がある場合は、Solaris 8 MU1 のインストール時に `install_mu` の `-d` オプションを使用しないでください。

個々のパッチをバックアウトする手順は、それぞれのパッチのディレクトリにあります。パッチのディレクトリは `$ROOTDIR/var/sadm/patch/` にあります。

注 - `install_mu` の `-d` オプションを使用した場合、MU 全体をバックアウトすることはできません。

Solaris 8 MU1 のバックアウト

MU1 をバックアウトする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。マルチユーザーの状態では MU1 をインストールすると、すでにマップされているライブラリのセクションとマップされていないそのライブラリのセクション間に不一致が起こり、そのライブラリは不安定な状態になります。

シングルユーザーモードでは、ネットワークサービスは使用できません。MU1 イメージが CD 上ではなくネットワーク上にある場合、シングルユーザーモードでシステムをブートする前に MU1 イメージをネットワークからローカルシステムにコピーしなければなりません。

十分なローカルディスク容量がないため MU1 イメージをローカルにコピーできない場合や MU1 CD がないまたはつながっていない場合、あるいはシステムをシングルユーザーモードにできない場合には、マルチユーザーモードで NFS を使用して MU1 をインストールすることになります。この場合、システムをできるだけ静かな状態 (つまり、ユーザーがすべてログアウトし、実行されているジョブがない状態) にしておく必要があります。

MU1 が提供する `backout_mu` スクリプトを使用すると、MU 全体をバックアウトできます。

Solaris 8 MU1 をバックアウトするには、次の手順に従います。

1. 重要なユーザープロセスまたはシステムプロセスが実行されていないことを確認します。
2. 現在のセッションを終了します。
CDE ログイン画面が表示されます。
3. 「オプション」ボタンをクリックして、「コマンド行ログイン」を選択します。
ログインプロンプトが表示されます。
4. ログイン名として `root` と入力し、**root** のパスワードを入力します。

```
login: root
password: root password
```

5. シングルユーザーモードでリブートします。**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# reboot -- -s
```

注 - `shutdown` または `init` コマンドで実行レベルをマルチユーザーモードからシングルユーザーモードへ変更すると、`vold` プロセスが実行されたままになることがあります。この状態で MU1 CD をマウントしようとする、問題が発生することがあります。

6. **root** のパスワードを入力します。

システムが次のメッセージを表示し、システム保守モードになっていることを確認します。

```
Entering System Maintenance Mode  
  
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.8 Generic Feb 2000  
#
```

7. `backout_mu` コマンドを実行するメディアを確認します。

- CD から `backout_mu` を実行しようとしている場合は、21ページの手順 8 に進みます。
- MU1 イメージのローカルコピーから `backout_mu` を実行しようとしている場合は、21ページの手順 9 に進みます。

8. **MU1 CD** をマウントするには、**CD** をドライブに挿入し、**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# mount -o ro -F hsfs /dev/dsk/c0t6d0s0 /cdrom
```

注 - CD-ROM ドライブが `c0` 以外のコントローラにあるか、`t6` 以外のターゲットにあることがあります。この場合は CD-ROM デバイスへのパスを変更する必要があります。CD-ROM ドライブのマウントについては、システム管理者に問い合わせてください。

9. `backout_mu` を実行します。

- MU1 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory  
# ./backout_mu options
```

- MU1 CD から実行するには、次のように入力します。

```
# cd /cdrom
# ./backout_mu options
```

表 3-1 backout_mu のコマンド行オプション

オプション	説明
-T <i>tooldir</i>	パッチツールディレクトリの位置を指定する
-q	backout_mu 処理中を示すドット表示を無効にする
-B <i>backoutdir</i>	パッチが保存されている代替ディレクトリを指定する

バックアウトが完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
backout_mu completed successfully.
```

- このメッセージが表示された場合は、22ページの手順 10 に進んでバックアウトを完了します。
- エラーが発生した場合は、第 5 章を参照してください。

10. 次のように実行してシステムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

注 - ライブラリの衝突を防ぐために、MU1 をバックアウトした後に必ずシステムをリブートしてください。

11. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login  
password: password
```


既知の問題

この章では、Solaris 8 MU1 のインストールと使用に関連する既知の問題について説明します。

インストールに関するバグ

install_mu を sh で起動すると正常に動作しない (bug ID 4062334)

sh(1) と ksh(1) とのやりとりに問題があるため、コマンド行から次のコマンドを実行したり、管理用スクリプトから install_mu を起動したりすると、install_mu は特定のパッチを正常にインストールしません。

```
# /bin/sh ./install_mu options
```

対処方法: コマンド行または管理用スクリプトから次のように install_mu を実行します。

```
# ./install_mu options
```

Patchadd が終了メッセージを表示する

次のメッセージが install_mu によって表示されることがあります。

```
Installation of XXXXXX-YY failed:  
  Attempting to patch a package that is not installed.
```

ログファイルには、以下のメッセージが残されます。

```
One or more patch packages included in  
XXXXXX-YY are not installed on this system.  
  
Patchadd is terminating.
```

patchadd は、そのパッチの対象となるパッケージが Solaris 8 システムに入っていない場合、パッチを適用しません。このメッセージは、そういった理由で適用しなかったことを示しています。

たとえば、あるアーキテクチャのパッチを別のアーキテクチャのシステムにインストールしようとした場合 (sun4m システムに sun4u パッチをインストールするなど)、patchadd はそれを検知し、このメッセージを表示します。

このメッセージは、1 つまたは複数のパッケージが見つからない場合にも表示されます。管理者がパッケージを削除した可能性や、もともとインストールされていなかった可能性 (全体ディストリビューションより小さいクラスタをインストールした場合など) があります。

対処方法 : このメッセージは無視してください。

エラーメッセージ

install_mu と backout_mu 実行記録は /var/sadm/install_data ディレクトリにある Maintenance_Update_log ファイルと MU_Backout_log ファイルに記録されます。詳細ログファイルを調べて、インストールまたはバックアウトされなかったパッチまたはパッケージの追加情報がないかどうか確認します。

```
# more $ROOTDIR/var/sadm/install_data/log_file.mu_version_name.date_time
```

上記の例では、

- \$ROOTDIR は、更新したシステムのルートディレクトリです。たとえば、ローカルシステムの場合は / になり、ディスクレスクライアントの場合は /export/root/clientname になります。
- log_file は、完了したプロセスのログファイル名です。インストールの場合は、Maintenance_Update_log です。バックアウトの場合は、MU_Backout_log です。
- mu_version_name は MU のバージョンを表します (MU1 の場合は、Solaris_8 MU1)。
- date_time は date +%y%m%d%H%M%S からコピーされた指定日時 (yyyymmddHHMMSS) です。

注 - \$ROOTDIR/var/sadm/install_data/log_file は最新の MU ログファイルへのシンボリックリンクです。

注 - 通常、エラーメッセージにはエラーの内容だけが表示され、エラーコード番号は表示されません。エラーコード番号が表示されるのは、`install_mu` または `backout_mu` を呼び出すスクリプトを書いている、そのスクリプトで異常終了時の戻り値を知る必要がある場合だけです。

Error Code 1

signal detected.

install_mu (backout_mu) is terminating.

説明と対処方法: Control-C が押されて、`install_mu` (または、`backout_mu`) に割り込みが発生しました。プログラムを起動し直してください。`install_mu` をもう一度呼び出す場合は、以前適用したパッチについてのエラーメッセージがログファイルに現れます。このエラーメッセージは無視してください。

Error Code 2:

install_mu (backout_mu) is unable to find the INST_RELEASE file for the target file system. This file must be present for install_mu (backout_mu) to function correctly.

説明と対処方法: クライアントのルート領域にファイル `/var/sadm/system/admin/INST_RELEASE` が見つかりません。クライアントが適切に作成されなかったか、クライアントが壊れています。クライアントをバックアップして、削除し、作成し直してください。

Error Code 3:

ERROR: Cannot find `$xcommand` which is required for proper execution of `install_mu (backout_mu)`.

説明と対処方法: `install_mu` と `backout_mu` を実行するには、特定のシステムユーティリティ (たとえば、`awk`、`sed`、`grep`) がサーバーの `/usr/bin` と `/usr/sbin` ディレクトリになければなりません。これらのユーティリティの 1 つがありません。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 4:

The `-B` and `-d` arguments are mutually exclusive.

説明と対処方法: `-d` オプションを使用すると、バックアウトデータは保存されません。`-B` オプションは、バックアウトデータを保存するディレクトリを指定し

ます。これら2つのオプションは一緒に使用できません。どちらか1つのオプションだけで、`install_mu` を起動し直してください。

Error Code 5:

The `-p` parameter must be a directory. `$uPATCHDIR` is not a directory.

説明と対処方法: `-p` オプションに指定した引数が有効なディレクトリではありません。有効なディレクトリを `-p` オプションに指定して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 6:

The `-B` parameter must be a directory. `$1` is not a directory.

説明と対処方法: `-B` オプションに指定した引数がディレクトリではありません。有効なディレクトリを `-B` オプションに指定して、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 7:

Permissions on backout directory `$BACKOUTDIR` not adequate.

説明と対処方法: `-B` オプションに指定した引数が書き込み可能なディレクトリではありません。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 10:

Invalid option.

説明と対処方法: 指定したオプションを認識できません。表示された使用方法を読んで、`install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。

Error Code 11:

Can't write to Log File: `$LOGFILE`

説明と対処方法: `install_mu` と `backout_mu` は、そのログを `$ROOTDIR/var/sadm/install_data` ディレクトリに書き込みます。この `install_data` ディレクトリが書き込み可能かどうかを確認して `install_mu` (または、`backout_mu`) を起動し直してください。スタンドアロンまたは `-s` オプションでサーバーのサービス領域に対して `MU1` をインストールした場合は、`$ROOTDIR` はそのシステムのルートディレクトリです。`-R` オプションでクライアントのルート領域にインストールした場合は、`$ROOTDIR` はサーバーの `/export/root/client-name` です。

Error Code 12:

SUNWcar (core architecture root) package does not exist in \$ROOTDIR/var/sadm/pkg.

説明と対処方法: /var/sadm/pkg/SUNWcar ディレクトリがクライアントまたはサーバーのルート領域にありません。クライアントまたはサーバーが壊れています。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 13:

install_mu (backout_mu) only supports sparc and i386 architectures. install_mu (backout_mu) has detected ARCH=\$LPROC.

説明と対処方法: アーキテクチャが SPARC または i386 ではないシステムで install_mu (または、backout_mu) を実行しました。サポートされているプラットフォーム上で、install_mu (または、backout_mu) を起動し直してください。

Error Code 14:

-p parameter does not point to a directory containing a .order file. Looked in \$uPATCHDIR and in \$uPATCHDIR/\$MU_TOP/\$LPROC/Patches.

説明と対処方法: install_mu は指定されたディレクトリで .order ファイルを見つけることができませんでした。 .order はパッチインストール順序を決めるためのファイルです。 install_mu (または、backout_mu) は \$path_you_specified と \$path_you_specified/MU/\$arch/Patches (\$arch は sparc または i386) で .order ファイルを探します。 .order ファイルがあるかどうかを確認して、 install_mu (または、backout_mu) を起動し直してください。

Error Code 15:

install_mu cannot locate patch order (.order) file. Paths searched: ./LPROC/Patches, \$MU_TOP/LPROC/Patches, /cdrom/cdrom0/LPROC/Patches ./uPATCHDIR, and ./uPATCHDIR/\$MU_TOP/LPROC/Patches.

説明と対処方法: パッチディレクトリを指定する -p オプションが install_mu (または、backout_mu) に指定されていません。したがって、 install_mu (または、backout_mu) はパッチディレクトリを見つけることができません。 -p オブ

ションを指定して、install_mu (または、backout_mu) を起動し直してください。

Error Code 16:

You must be root to execute this script.

説明と対処方法 : install_mu (または、backout_mu) を実行するには、root 権限が必要です。これは、root ユーザーだけがパッチを適用および削除できるからです。root としてプログラムを起動し直してください。

Error Code 17:

install_mu (backout_mu) can only patch version 2.8 systems.
Target system is version \$TrgOSVers.

説明と対処方法 : Solaris 8 が稼動していないサーバーまたはクライアントにパッチを適用しようとして、install_mu を実行しています。または、Solaris 8 が稼動していないサーバーまたはクライアントからパッチをバックアウトするため backout_mu を実行しました。Solaris 8 システムが稼動されている環境で install_mu および backout_mu を実行してください。

Error Code 18:

Directory with patch tools, \$TOOLS DIR, not found.

説明と対処方法 : install_mu (または、backout_mu) は、MU1 に含まれるツールのディレクトリ (Tools) を見つけることができませんでした。MU1 をシステムにコピーしている場合、そのコピーしたものが壊れているか、変更されている可能性があります。MU1 をインストールし直してください。

Error Code 19:

\$TOOLS DIR/patchadd (or patchrm) does not exist or is not executable.

説明と対処方法 : MU1 には、Solaris 8 に入っている patchadd と patchrm とは異なるバージョンのバイナリが含まれています。これらのどちらか 1 つがないか、そのバイナリを実行することができませんでした。MU1 をシステムにコピーした場合、そのコピーされたものが壊れているか、変更されている可能性があります。MU1 をインストールし直してください。

Error Code 22:

Not enough disk space to apply entire patch set.

説明と対処方法: `install_mu` がシステムを解析した結果、1つまたは複数のファイルシステムで、パッチセット全体をインストールするのに十分なディスク容量がないことが判明しました。不足していると報告されたファイルシステムの空きディスク容量を増やして、`install_mu` を起動し直してください。MU1 を適用するのに十分なディスク容量があるとわかっている場合は、`-f` オプションを指定して `install_mu` を起動し直してください。

Error Code 23:

Not enough disk space to save patch backout data.

説明と対処方法: `install_mu` がシステムを解析した結果、パッチのバックアウトデータを保存するのに十分なディスク容量がバックアウトディレクトリにないことが判明しました。十分なディスク容量を持つバックアウトディレクトリを選択して、`install_mu` を起動し直してください。バックアウトディレクトリに十分なディスク容量があるとわかっている場合は、`-f` オプションを指定して `install_mu` を起動し直してください。

Error Code 24:

Dry run disk space check failed.

説明と対処方法: `install_mu` は特別なオプションを指定して `pkgadd` を呼び出し、十分なディスク容量があるかどうかを検査します。/ または `/var` のディスク容量が極端に少ないか、システムが壊れている可能性があるため、`pkgadd` が異常終了しました。システム管理者に問い合わせてください。

Error Code 25:

The `-f` and `-D` options are mutually exclusive.

説明と対処方法: `-f` オプションを `install_mu` に指定すると、ディスク容量の事前計算を省略します。`-D` オプションを指定すると、その事前計算だけを行います。どちらか一方のオプションを選択するか、どちらも選択しないでください。

Error Code 27:

Cannot find state file. Looked for a file of the form `$ROOTDIR/var/sadm/install_data/.mu_state.{root_or_usr.date_time}`.

説明と対処方法: `backout_mu` は、バックアウトするパッチを調べるために、`install_mu` によってインストールされたパッチのリストが入っているファイルが必要とします。このファイルがない場合、`backout_mu` は機能しません。

Error Code 28:

The `-T` parameter must be a directory. `$uTOOLDIR` is not a directory.

説明と対処方法: `-T` に指定したオプションがディレクトリではありません。`-T` オプションに有効なパスを指定して、もう一度 `backout_mu` を呼び出してください。

Error Code 29:

`-T` parameter does not point to a directory containing patching tools. Looked in `$uTOOLDIR` and in `$uTOOLDIR/MU/common/Tools`.

説明と対処方法: `backout_mu` はツール `installpatch.fast` と `backoutpatch.fast` を必要とします。これらのツールが `-T` オプションで指定したディレクトリにありませんでした。`-T` オプションに有効なディレクトリを指定して、もう一度 `backout_mu` を実行してください。

Error Code 30:

`backout_mu` cannot locate tools directory. Paths searched: `./common/Tools`, `MU/common/Tools`, `/cdrom/cdrom0/MU/common/Tools`

説明と対処方法: `backout_mu` は、さまざまなディレクトリでパッチツール `installpatch.fast` と `backoutpatch.fast` を検索しましたが、見つかりませんでした。`-T` オプションに有効なディレクトリを指定して、もう一度 `backout_mu` を実行してください。

Solaris 8 MU1 の内容

この付録では、Solaris 8 MU1 全パッチの一覧を示します。

たとえば以下の例は、

108604-03 : SunOS 5.8: Elite3D AFB Graphics Patch

4234045 4294963 4300089 4303885 4308725

- 108604-03 はパッチの ID 番号です。
- SunOS 5.8: Elite3D AFB Graphics Patch は、パッチの概要です。
- 4234045 4294963 4300089 4303885 4308725 は、パッチ ID 108604-03 によって修正されたバグ ID 番号です。

パッチリスト (SPARC 用)

108528-01 : SunOS 5.8: kernel update patch
4256799 4272737 4293528 4295776 4303474 4304696 4305365 4306004 4306367 4307062
4307080 4307747 4307827 4309011 4309802 4309818 4310864 4311134 4312278 4313746 4313747
4314201

108576-01 : SunOS 5.8: Expert3D IFB Graphics Patch
4287694 4288477 4288903 4292508 4294341 4294348 4297823 4299666

108604-03 : SunOS 5.8: Elite3D AFB Graphics Patch
4234045 4294963 4300089 4303885 4308725

108605-03 : SunOS 5.8: Creator 8 FFB Graphics Patch
4234045 4294963 4303885 4308725

(続く)

続き

108652-04 : X11 6.4.1 Xsun patch
4281374 4292395 4286682 4300866 1221324 4308554 4306350 4312517 4287741 4297581
4297830 4299495 4306774 4308640 4308661 4308670 4311088 4312780 4312893

108664-02 : SunOS 5.8: Support for SME platforms
4298987 4309134

108714-01 : CDE 1.4: libDtWidget patch
4289349

108723-01 : SunOS 5.8: /kernel/fs/lofs and /kernel/fs/sparcv9/lofs patch
4126922

108725-01 : SunOS 5.8: st driver patch
4270641 4319238

108727-02 : SunOS 5.8: /kernel/fs/nfs and /kernel/fs/sparcv9/nfs patch
4276984 4293528

108781-01 : Solaris 8: Get UDCTool to work for zh_TW
4307173

108806-02 : Solaris 8: Sun Quad FastEthernet qfe driver
4306341 4301636 4321069 4321602

108808-05 : SunOS 5.8: Manual Page updates for Solaris 8
4312130 4323321 4323394 4314114 4310895

108810-01 : SunOS 5.8: DirUmountRecurse unmounts incorrectly
4299103

108820-01 : SunOS 5.8: nss_compat.so.1 patch
4302441

108823-01 : SunOS 5.8: compress/uncompress/zcat patch
4295877

108825-01 : SunOS 5.8: /usr/lib/fs/cachefs/cfsadmin patch
4207874

108827-01 : SunOS 5.8: libthread patch
4288299

108835-01 : CDE 1.4: dtcm patch
4285729

108869-01 : SunOS 5.8: snmpdx/mibiisa/libssasmp/snmplib patch
4299328 4301970 4309416

108874-01 : SunOS 5.8: fhc driver patch
4304051

(続く)

続き

108875-04 : SunOS 5.8: c2audit patch
4224166 4290575 4307306 4308525 4322741

108897-01 : X11 6.4.1 Xprint patch
4305734

108899-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/ftp patch
4294697

108901-01 : SunOS 5.8: /kernel/sys/rpcmod and /kernel/strmod/rpcmod patch
4107735

108909-01 : CDE 1.4: Smart Card Administration GUI patch
4301377 4301411

108914-01 : SunOS 5.8: localisation updates for different components

108919-01 : CDE 1.4: dtlogin patch
4072784 4293300 4302209

108921-02 : CDE 1.4: dtwm patch
4306589 4311842 4301522 4299651 4300013

108925-03 : Solaris 8: New Messages for new I18N projects
4321271 4323500

108933-01 : Hex broken in Swedish dtcalc, Mistranslation in Spanish dtmail
4308864 4304021

108940-01 : Motif 2.1.1: Runtime library patch for Solaris 8
4299216

108947-01 : SunOS 5.8: /platform/sun4u/cprboot patch
4296960

108949-01 : CDE 1.4: libDtHelp/libDtSvc patch
4298416

108954-02 : SunOS 5.8: localisation updates for different components

108956-01 : SunOS 5.8: htt_server dumps core on SCH's cm.so in utf-8 locales
4314242

108958-02 : SunOS 5.8: Patch for libspmisvc.so.1
4256556 4302899 4313039

108960-01 : SunOS 5.8: Patch for sysidnet
4310705

108962-01 : SunOS 5.8: XmlReader fails on an HTTP stream
4314140

(続<)

続き

108964-02 : SunOS 5.8: /usr/sbin/snoop patch
4297326 4297676 4313760 4315280 4317713 4321696 4321713 4321720 4321721 4321723
4321725 4321726 4322042 4322055 4322058 4322060 4322064 4322200 4322670

108966-01 : SunOS 5.8: /kernel/fs/ufs and /kernel/fs/sparcv9/ufs patch
4293528

108968-02 : SunOS 5.8: vol/vold/rmmount patch
1206000 4108297 4145529 4205437 4211612 4254816 4255049 4285374 4286446 4292408
4292563 4296452 4298451 4298465 4298563 4298567 4303430 4304283 4304289 4305067 4306425
4307495 4307500 4307620 4307634 4312778 4313091

108970-01 : SunOS 5.8: /usr/lib/fs/pcfs/fsck and /usr/lib/fs/pcfs/mkfs patch
4145536 4210625 4250242 4256652

108972-01 : SunOS 5.8: /sbin/fdisk patch
4221693

108974-02 : SunOS 5.8: sd and uata driver patch
4285368 4285546 4305131 4313235

108975-02 : SunOS 5.8: /usr/bin/rmformat and /usr/sbin/format patch
4242879 4292212 4308431 4311553 4322206

108977-01 : SunOS 5.8: libsmmedia patch
4292214 4308431 4311553

108979-05 : SunOS 5.8: Netra ct patch
4236043 4242051 4253713 4255980 4272737 4276021 4290269 4303126 4306367 4307062
4307080 4307747 4307827 4309011 4309802 4309818 4310864 4311126 4311134 4312838 4312937
4314121 4314936 4315098 4315100 4315101 4317657 4317667 4318351 4318728 4318747 4320440
4320471 4328225 4330429 4330774

108981-02 : SunOS 5.8: /kernel/drv/hme and /kernel/drv/sparcv9/hme patch
4247473 4327720

108982-03 : SunOS 5.8: fctl/fp/fcp/usoc driver patch
4291069 4294605 4298666 4298671 4298676 4298680 4298689 4298693 4298699 4299785
4300943 4300953 4302739 4304902 4323071 4324847

108983-02 : SunOS 5.8: fcip patch
4304890 4320876

108984-02 : SunOS 5.8: qlc adb macros patch
4264323 4278254 4300470 4300943 4300953 4302087 4304897 4324126 4324180 4324192
4324478

108985-01 : SunOS 5.8: /usr/sbin/in.rshd patch
4158689 4305888

108987-01 : SunOS 5.8: Patch for patchadd and patchrm
4278860 4304640 4303509 4292990 4299710

(続く)

続き

108989-02 : SunOS 5.8: /usr/kernel/sys/acctctl and /usr/kernel/sys/exacctsys patch
4305365 4312278 4313746 4313747 4314201

108991-02 : SunOS 5.8: libc and watchmalloc patch
4193683 4225913 4292683 4312278 4314913

108993-01 : SunOS 5.8: nss and ldap patch
4312278

108995-01 : SunOS 5.8: /usr/lib/libproc.so.1 patch
4312278

108997-03 : SunOS 5.8: libexacct and libproject patch
4305365 4312278 4313746 4313747 4314201

108999-01 : SunOS 5.8: PAM patch
4312278

109003-01 : SunOS 5.8: /etc/init.d/acctadm and /usr/sbin/acctadm patch
4312278

109005-01 : SunOS 5.8: /sbin/su.static and /usr/bin/su patch
4312278

109007-01 : SunOS 5.8: at/atrm/batch/cron patch
4312278

109009-01 : SunOS 5.8: /etc/magic and /usr/bin/file patch
4312278

109011-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/id and /usr/xpg4/bin/id patch
4312278

109013-02 : SunOS 5.8: /usr/bin/lastcomm patch
4305365 4312278 4313746 4313747 4314201

109015-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/newtask patch
4312278

109017-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/pgrep and /usr/bin/pkill patch
4312278

109019-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/priocntl patch
4312278

109021-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/projects patch
4312278

109023-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/sparcv7/ps and /usr/bin/sparcv9/ps patch
4312278

109025-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/sparcv7/truss and /usr/bin/sparcv9/truss patch

(続く)

続き

4312278

109027-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/wracct patch
4312278

109029-01 : SunOS 5.8: perl patch
4312278

109031-01 : SunOS 5.8: projadd/projdel/projmod patch
4312278

109033-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/sparcv7/prstat and /usr/bin/sparcv9/prstat patch
4312278

109035-01 : SunOS 5.8: useradd/userdel/usermod patch
4312278

109037-01 : SunOS 5.8: /var/yp/Makefile and /var/yp/nicknames patch
4312278

109041-02 : SunOS 5.8: sockfs patch
4224166 4290575 4322741

109043-02 : SunOS 5.8: sonode adb macro patch
4224166 4290575 4322741

109045-02 : SunOS 5.8: /usr/sbin/sparcv7/crash and /usr/sbin/sparcv9/crash patch
4224166 4290575 4322741

109066-03 : SunOS 5.8: NCA Support for Apache Web Server patch
4285881 4294231 4296334 4297125 4297126 4297294 4299951 4300202 4300429 4300836
4301047 4303787 4306793 4307672 4307679 4307683 4308402 4311970 4312075 4312396 4313734
4316564 4317634 4318360 4318365 4324351 4326195 4326198

109068-01 : Japanese CDE 1.4: Update Japanese CDE help files
4302904

109070-01 : WBEM (japanese): fix japanese improper messages
4302909

109072-02 : Japanese CDE 1.4: sdtsmartcardadmin help files
4318088 4301377

109077-01 : SunOS 5.8: /usr/lib/inet/in.dhcpd patch
4313817

109087-01 : SunOS 5.8: atok8 terminates "Shell widget modeShell has zero..."
4297016 4301750

109091-01 : SunOS 5.8: /usr/lib/fs/ufs/ufsrestore patch
4297558

109093-01 : SunOS 5.8: JFP message files patch

(続く)

続き

4318917

109094-01 : SunOS 5.8: localisation updates for different components

109128-01 : Provide conversion between codepages 1256 and ISO8859-6
4301870

109131-01 : SunOS 5.8: JFP manpages patch
4320935

109137-01 : SunOS 5.8: /usr/sadm/install/bin/pkginstall patch
4318844

109142-01 : CDE 1.4: dtterm libDtTerm patch
4308751

109145-01 : SunOS 5.8: /usr/sbin/in.routed patch
4319852

109147-01 : SunOS 5.8: linker patch
4309212 4311226 4312449

109149-01 : SunOS 5.8: /usr/sbin/mkdevmaps patch
4316613

109153-01 : SunOS 5.8: /platform/sun4u/kernel/misc/cpr patch
4305817

109157-02 : SunOS 5.8: WOS Message Update
4329574

109165-03 : CDE 1.4: dtfile patch
4257760 4256612 4256615 4256616 4256617 4297751 4259270 4287012 4292249 4303367
4297401 4302856 4305084 4305248 4303443 4291565 4308823 4306243 4291444 4286997 4310115
4302740 4301375 4312545 4314867 4312316 4310827 4292266 4316515 4314491 4317156 4317797
4314870 4322296 4318940 4325417

109167-01 : CDE 1.4: Desktop Help Updates Patch
4307183 4319636

109169-05 : CDE 1.4: Window Manager Enhancements Patch
4301525 4301229 4303415 4304468 4308078 4310419 4311506 4312315 4311916 4312250
4311992 4312375 4305293 4316508 4299329 4321374 4327961 4321817 4328036 4328268

109176-01 : Japanese CDE 1.4: New Feature patch
4322170

109179-03 : SunOS 5.8: localisation updates for different components

109181-01 : SunOS 5.8: /kernel/fs/cachefs patch
4166371 4292697 4299056

(続く)

続き

109200-01 : SunOS 5.8: localisation updates for different components
4313061

109221-01 : SunOS 5.8: Patch for sysidnet
4322703

109247-01 : Bad translation causes core dump in German install
4324017

109249-01 : Help not localised for the dhcpmgr
4324311

109255-01 : Unlocalised buttons on user-interface of dhcpmgr
4324315

109264-01 : Graphics missing from Help in Smart Card
4324308

109277-01 : SunOS 5.8: /usr/bin/iostat patch
4313169

109279-01 : SunOS 5.8: /kernel/drv/ip and /kernel/drv/sparcv9/ip patch
4299951

109318-01 : SunOS 5.8: libspmisoft patch
4324404

パッチリスト (Intel 用)

108529-01 : SunOS 5.8_x86: kernel update patch
4293528 4295776 4303474 4304696 4305365 4306004 4312278 4313746 4313747 4314201

108653-04 : X11 6.4.1_x86: Xsun patch
4281374 4292395 4286682 4300866 1221324 4308554 4306350 4312517 4287741 4297581
4297830 4299495 4306774 4308640 4308661 4308670 4311088 4312780 4312893

108715-01 : CDE 1.4_x86: libDtWidget patch
4289349

108724-01 : SunOS 5.8_x86: /kernel/fs/lofs patch

(続く)

4126922

108726-01 : SunOS 5.8_x86: st driver patch
4270641 4319238

108728-02 : SunOS 5.8_x86: /kernel/fs/nfs patch
4276984 4293528

108782-01 : Solaris 8_x86: Get UDCTool to work for zh_TW
4307173

108809-05 : SunOS 5.8_x86: Manual Page updates for Solaris 8
4312130 4323321 4323394 4314114 4310895

108811-01 : SunOS 5.8_x86: DirUmountRecurse unmounts incorrectly
4299103

108821-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/lib/nss_compat.so.1 patch
4302441

108822-01 : SunOS 5.8_x86: /boot/solaris/boot.bin patch
4300016

108824-01 : SunOS 5.8_x86: compress/uncompress/zcat patch
4295877

108826-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/lib/fs/cachefs/cfsadmin patch
4207874

108828-01 : SunOS 5.8_x86: libthread patch
4288299

108836-01 : CDE 1.4_x86: dtcm patch
4285729

108870-01 : SunOS 5.8_x86: snmpdx/mibiisa/libssasmp/snmpplib patch
4299328 4301970 4309416

108876-03 : SunOS 5.8_x86: c2audit patch
4224166 4290575 4308525 4322741

108883-01 : SunOS 5.8_x86: mmu32/mmu36 patch
4305696 4307800

108898-01 : X11 6.4.1_x86: Xprint patch
4305734

108900-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/ftp patch
4294697

108902-01 : SunOS 5.8_x86: /kernel/sys/rpcmod and /kernel/strmod/rpcmod patch
4107735

(続<)

続き

108915-01 : SunOS 5.8_x86: localisation updates for different components

108920-01 : CDE 1.4_x86: dtlogin patch
4072784 4293300 4302209

108922-02 : CDE 1.4_x86: dtwm patch
4306589 4311842 4301522 4299651 4300013

108934-01 : SunOS 5.8_x86: bugfix for European locales, dtmail, dtcalc, SmartCard
4308864 4304021 4301544

108941-01 : Motif 2.1.1_x86: Runtime library patch for Solaris 8_x86
4299216

108950-01 : CDE 1.4_x86: litDtHelp/libDtSvc patch
4298416

108955-01 : SunOS 5.8_x86: localisation updates for different components

108957-01 : SunOS 5.8_x86: htt_server dumps core on SCH's cm.so in utf-8 locales
4314242

108959-02 : SunOS 5.8_x86: Patch for libspmisc.so.1
4256556 4302899 4313039

108961-01 : SunOS 5.8_x86: Patch for sysidnet
4310705

108963-01 : SunOS 5.8_x86: XmlReader fails on an HTTP stream
4314140

108965-02 : SunOS 5.8_x86: /usr/sbin/snoop patch
4297326 4297676 4313760 4315280 4317713 4321696 4321713 4321720 4321721 4321723
4321725 4321726 4322042 4322055 4322058 4322060 4322064 4322200 4322670

108967-01 : SunOS 5.8_x86: /kernel/fs/ufs patch
4293528

108969-02 : SunOS 5.8_x86: vol/vold/rmmount patch
1206000 4108297 4145529 4205437 4211612 4254816 4255049 4285374 4286446 4292408
4292563 4296452 4298451 4298465 4298563 4298567 4303430 4304283 4304289 4305067 4306425
4307495 4307500 4307620 4307634 4312778 4313091

108971-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/lib/fs/pcfs/fsck and /usr/lib/fs/pcfs/mkfs patch
4145536 4210625 4250242 4256652

108973-01 : SunOS 5.8_x86: /sbin/fdisk patch
4221693

108976-02 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/rmformat and /usr/sbin/format patch
4242879 4292212 4308431 4311553 4322206

(続く)

続き

108978-01 : SunOS 5.8_x86: libsmmedia patch
4292214 4308431 4311553

108980-04 : SunOS 5.8_x86: PCI HotPlug framework patch
4272737 4276021 4303126 4306367 4307062 4307080 4307747 4307827 4309011 4309802
4309818 4310864 4311126 4311134 4312937 4314121 4314936 4315098 4315100 4315101 4318351
4318747 4320440 4320471 4330429 4330774

108986-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/sbin/in.rshd patch
4158689 4305888

108988-01 : SunOS 5.8_x86: Patch for patchadd and patchrm
4278860 4304640 4303509 4292990 4299710

108990-02 : SunOS 5.8_x86: acctctl & exactsys patch
4305365 4312278 4313746 4313747 4314201

108992-02 : SunOS 5.8_x86: libc and watchmalloc patch
4193683 4225913 4292683 4312278 4314913

108994-01 : SunOS 5.8_x86: nss and ldap patch
4312278

108996-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/lib/libproc.so.1 patch
4312278

108998-03 : SunOS 5.8_x86: libexacct and libproject patch
4305365 4312278 4313746 4313747 4314201

109000-01 : SunOS 5.8_x86: PAM patch
4312278

109004-01 : SunOS 5.8_x86: /etc/init.d/acctadm and /usr/sbin/acctadm patch
4312278

109006-01 : SunOS 5.8_x86: /sbin/su.static and /usr/bin/su patch
4312278

109008-01 : SunOS 5.8_x86: at/atrm/batch/cron patch
4312278

109010-01 : SunOS 5.8_x86: /etc/magic and /usr/bin/file patch
4312278

109012-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/id and /usr/xpg4/bin/id patch
4312278

109014-02 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/lastcomm patch
4305365 4312278 4313746 4313747 4314201

109016-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/newtask patch
4312278

(続<)

続き

109018-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/pgrep and /usr/bin/pkill patch
4312278

109020-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/priocntl patch
4312278

109022-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/projects patch
4312278

109024-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/i86/ps patch
4312278

109026-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/i86/truss patch
4312278

109028-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/wracct patch
4312278

109030-01 : SunOS 5.8_x86: perl patch
4312278

109032-01 : SunOS 5.8_x86: projadd/projdel/projmod patch
4312278

109034-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/i86/prstat patch
4312278

109036-01 : SunOS 5.8_x86: useradd/userdel/usermod patch
4312278

109038-01 : SunOS 5.8_x86: /var/yp/Makefile and /var/yp/nicknames patch
4312278

109042-02 : SunOS 5.8_x86: sockfs patch
4224166 4290575 4322741

109044-02 : SunOS 5.8_x86: sonode adb macro patch
4224166 4290575 4322741

109046-02 : SunOS 5.8_x86: /usr/sbin/i86/crash patch
4224166 4290575 4322741

109067-03 : SunOS 5.8_x86: NCA Support for Apache Web Server patch
4285881 4294231 4296334 4297125 4297126 4297294 4299951 4300202 4300429 4300836
4301047 4303787 4306793 4307672 4307679 4307683 4308402 4311970 4312075 4312396 4313734
4316564 4317634 4318360 4318365 4324351 4326195 4326198

109069-01 : Japanese CDE 1.4: update CDE help files for _x86
4302904

109071-01 : WBEM (japanese): fix japanese improper messages for _x86
4302909

(続く)

続き

109073-02 : Japanese CDE 1.4_x86: New Feature patch
4302027 4305195 4322170

109078-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/lib/inet/in.dhcpd patch
4313817

109088-01 : SunOS 5.8_x86: atok8 terminates "Shell widget modeShell has zero..."
4297016 4301750

109092-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/lib/fs/ufs/ufsrestore patch
4297558

109095-01 : SunOS 5.8_x86: localisation updates for different components

109119-01 : SunOS 5.8_x86: JFP message files patch for x86
4318917

109129-01 : SunOS 5.8_x86: Provide conversion between codepages 1256 and ISO8859-6
4301870

109132-01 : SunOS 5.8_x86: JFP manpages patch
4320935

109138-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/sadm/install/bin/pkginstall patch
4318844

109143-01 : CDE 1.4_x86: dtterm libDtTerm patch
4308751

109146-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/sbin/in.routed patch
4319852

109148-01 : SunOS 5.8_x86: linker patch
4309212 4311226 4312449

109150-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/sbin/mkdevmaps patch
4316613

109155-01 : SunOS 5.8_x86: vgatext and terminal-emulator patch
4307285

109158-02 : SunOS 5.8_x86: WOS Message Update
4329574

109166-03 : CDE 1.4_x86: dtfile patch
4257760 4256612 4256615 4256616 4256617 4297751 4259270 4287012 4292249 4303367
4297401 4302856 4305084 4305248 4303443 4291565 4308823 4306243 4291444 4286997 4310115
4302740 4301375 4312545 4314867 4312316 4310827 4292266 4316515 4314491 4317156 4317797
4314870 4322296 4318940 4325417

109168-01 : CDE 1.4_x86: Desktop Help Updates Patch

(続<)

続き

4307183 4319636

109170-05 : CDE 1.4_x86: Window Manager Enhancements Patch
4301525 4301229 4303415 4304468 4308078 4310419 4311506 4312315 4311916 4312250
4311992 4312375 4305293 4316508 4299329 4321374 4327961 4321817 4328036 4328268

109180-02 : SunOS 5.8_x86: localisation updates for different components

109182-01 : SunOS 5.8_x86: /kernel/fs/cachefs patch
4166371 4292697 4299056

109201-02 : SunOS 5.8_x86: localisation updates for different components
4313061 4327905

109222-01 : SunOS 5.8_x86: Patch for sysidnet
4322703

109248-01 : SunOS 5.8_x86: Bad translation causes core dump in German install
4324017

109250-01 : SunOS 5.8_x86: Help not localised for the dhcpgmr
4324311

109278-01 : SunOS 5.8_x86: /usr/bin/iostat patch
4313169

109280-01 : SunOS 5.8_x86: /kernel/drv/ip patch
4299951

109319-01 : SunOS 5.8_x86: libspmisoft patch
4324404

109538-01 : SunOS 5.8_x86: Unlocalised buttons on user-interface of dhcpgmr
4324315